

きさらづ

市議会だより

平成14年2月4日

第73号

編集・発行 / 議会広報特別委員会
TEL.0438(23)7111

http://www.city.kisarazu.chiba.jp/gikai/

12月定例会

木更津市の市街化調整区域における開発行為等の基準に関する条例の制定など 22議案を可決

十二月市議会定例会は、十二月四日から二十日までの十七日間の会期で開かれました。今定例会では、木更津市の市街化調整区域における開発行為等の基準に関する条例の制定、WTO（世界貿易機関）農業交渉に向けた意見書に関する発議案など合計二十三議案が審議され、可決・同意されました。また、九人の議員が一般質問（代表・個人質問）を行いました。

本会議の経過

初日

十二月四日は、まず、

今定例会の会期を十二月二十日までの十七日間と決定した後、例月出納検査の結果などに関する諸報告が行なわれました。次に、市長

が市政に対する一般質問（代表質問）を行い、市当局の見解や方針などをいただきました。

2日目

十二月五日は、前日に引き続き、三人の議員による一般質問（代表・個人質問）が行われました。

3日目

十二月六日は、残る

最終日

82号)

土木都市水道常任委員会…議案一件(第82号)

十二月二十日は、まず、緊急質問を行い、委員会付託案件の審議結果などについて、所管委員長に報告を求めた後、質疑・討論・採決が行われました。この結果、各案件とも委員長報告どおり原案可決一件(議案第82号)、採択一件(陳情第10号)、継続審査一件(陳情第11号)、不採択三件(陳情第7号、第9号)と決定しました。



副議長に
平野 秀樹氏



議長に
齋藤 吉江氏

就任あいさつ

私たちは、このたび議員各位のご推挙をいただき、第50代議長・第48代副議長にそれぞれ就任いたしました。浅学非才でございますが、市政の発展と市民福祉の更なる推進のため、円滑な議会運営に誠心誠意努力をいたす覚悟でございます。

現在の我が国の社会経済情勢は、国際化、情報化、少子高齢化が急速に進行しつつあることに加え、景気の長期低迷は依然として回復せず、国はもとより地方の財政は改革をもつて立て直さねばならないという、非常に厳しい状況が続いております。

本年市政施行60周年の節目の年を迎える本市にあつては、克服せねばならない多くの課題を抱えており、本市の将来にとって重要なこの時期に、議会の要職に就任し、重責と使命の重大さを痛感しております。

本市の将来を見据えて着実に進むことが、郷土の発展に結びつくものと確信しており、議員各位と力を合わせ市民の期待を十分に発揮させていただきます。

市民の皆様のご理解とご協力をいただき、就任の挨拶いたします。

12月定例会の日程

日程	議事の内容
12月4日(火)	本会議 (諸報告 一般質問 議案等上程)
12月5日(水)	本会議 (一般質問)
12月6日(木)	本会議 (一般質問 議案審議 議案等付託)
12月10日(月)	常任委員会 (経済環境・教育市民福祉)
12月11日(火)	常任委員会 (土木都市水道)
12月20日(木)	本会議 (緊急質問 議案等審議 諸報告 議案等上程 追加議案・発議案審議 追加議案・発議案審議 議長等選挙)

紙面ガイド

1面	本会議の日程と経過
4・3・2面	一月臨時会
5面	一般質問と答弁の概要
6面	意見書内容と委員会のうごき 議案などの内容と議決結果

一般質問と答弁などをケーブルテレビで放映

内容 / 1回目の質問と答弁(各々15分)、提案理由の説明。
時刻 / 質問当日の午後6時15分から放映。再放送は、翌日の午前10時15分から。

傍聴者の状況

区分	12月計	13年累計
本会議	81人	356人
委員会	3人	18人
合計	84人	374人

十二月二十日は、まず、緊急質問を行い、委員会付託案件の審議結果などについて、所管委員長に報告を求めた後、質疑・討論・採決が行われました。この結果、各案件とも委員長報告どおり原案可決一件(議案第82号)、採択一件(陳情第10号)、継続審査一件(陳情第11号)、不採択三件(陳情第7号、第9号)と決定しました。

次に、付託省略議案(議案第77号、第81号及び議案第83号、88号)が審議され、いずれも原案どおり可決・同意されました。

続いて、例月出納検査の結果に関する諸報告が行われた後、市長提出の追加議案十件(議案第89号、第98号)及び意見書の提出に関する議員発議案一件(議案第4号)が上程され、委員会付託を省略し、審議した結果、いずれも原案のとおり可決されました。

この後、議長の辞職に伴う選挙が行われ、開票の結果、議長に齋藤吉江氏が当選し、藤吉江氏が当選し、全日程を終了しました。

第50代議長として就任いたしました。

次に、議会運営委員会委員の辞任に伴う選任、最後に君津広域水道企業団議会議員の辞職に伴う選挙が行われ、齋藤吉江氏が当選し、十二月定例会の全日程を終了しました。

一月臨時会

一月十五日(火)に市議会臨時会が会期一日の日程で開会されました。

この臨時会では、まず、平成十三年十二月二十七日付けをもつて、「清水宗一」副議長から辞職願が提出され許可した旨の報告があり、続いて、例月出納検査の結果に関する諸報告が行われました。次に、副議長の辞職に伴う選挙が行われ、その結果、

「平野秀樹」氏が第48代副議長に就任いたしました。

この後、市長の辞職勧告決議に関する発議案一件(発議案第1号)が上程され、委員会付託を省略し、審議した結果、原案のとおり可決され一月臨時会を終了しました。発議案第1号の内容については、(5)面《発議案の提出》のとおりです。



12月定例会 一般質問と答弁の概要

◆代表質問4人・個人質問5人◆

12月定例会では、9人の議員が市政に対する一般質問(代表質問4人・個人質問5人)を行い、大綱40点・104項目にわたり市当局の見解や方針などをたどりました。

紙面には、各議員の質問内容と質問議員が選択した大綱1点について、質問と答弁の概要を掲載しました。

なお、本会議の全容を記録した会議録は、行政資料室・図書館・公民館などで閲覧することができます。

市政会代表 平井 秀幸 議員

平成十四年度予算編成について
行政改革について
都市計画諸問題について
教育諸問題について
アインスピル対策について

平成十四年度予算編成について

問 一層厳しさを増すと思われる平成十四年度の予算編成方針についてと、概算で歳入歳出がどの程度になるのか、伺いたい
答 国においては、改革先行プログラムが策定され、国の財政健全化への取り組みと同様に、地方財政計画の歳出を徹底的に見直し、地方財政の健全化を図ることとしている。一方、国と地方の役割分担の見直しが進む中で、地方公共団体は、これまで以上に地域における行政を自主的かつ総合的に広く担うことが期待され、重要施策課題を推進していくうえで、ますます大きな役割を担っていくことが求められている。本市においても、いまだかつて経験したことのない厳しい財政状況の中で、本市の将来都市像「ひとにやさしく、環境と調和し、誇りに満ちた創造のまち

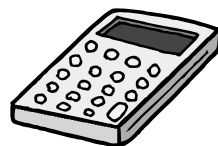
正栄会代表 平野 秀樹 議員

市長の政治姿勢
平成十四年度予算編成について
中心市街地の問題について
マリンロード構想について
組織改編について
合併について

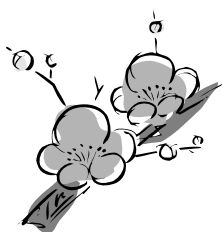
合併について

問 住民や民間企業が合併について考える機会が増え、ようやく、具体的な動きが出てきたところだが、民間レベルでの取り組みについて、市はどう考えるか。また、合併のメリット、デメリットについての研究は、市として行っているのか
答 市町村合併を考える動きについては、これまで市町村や議会、都道府県など行政側からの取り組みが多く見られたが、近年は住民発議制度の導入により、全国的に住民や青年会議所、商工会

きさらづ」を実現するため、全職員が一致して現状を認識し、徹底した経費の節減を初め、行政運営の効率化を図りながら、限られた財源の効率的配分に努めてまいりたい。次に、予算要求の概略は、一般会計ベースで、歳入が約三百十億円、歳出が約三百五十億円で、歳入歳出の乖離が約四十億円という状況になっている。



何っているところである。こうした運動がきっかけとなり、住民の皆様の主體的な参加により地域を盛り上げていくとともに、行政と連携した協働型のまちづくりへとつながっていくことを期待するものである。次に、合併のメリット、デメリットの研究については、現在のところ、四市合併についての具体的な検討は行っていない状況である。



民生会代表 佐川 文彦 議員

財政問題について 水道事業の現状と課題について
 教育問題について 地域情報化とまちづくりについて
 電子市役所について

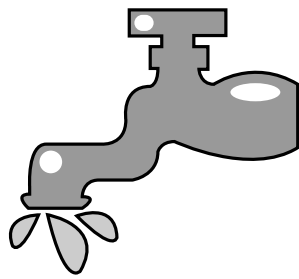
水道事業の現状と課題について

問 平成十二年度決算では、三年連続の赤字決算となり、君津広域水道企業団との覚書に基づく責任水量が大幅に増加し、これに伴って基本料金が増加したことが赤字決算の主原因であると伺った。また、平成十七年まではこの責任水量が増加

傾向にあつて、水道財政の圧迫要因になることから、現在、その覚書に基づく責任水量の見直し作業を行っている。伺ったが、作業状況について聞きたい。

答 企業団に設置されている県並びに君津管内四市で構成する担当者会議、あるいは水道事業管理者等で構成する運営協議会において、平成十四年度から平成十七年度までの四年間を見直し期間とする各年度の責任水量について、検討・協議を重ねた結果、去る十一月九日に開催された企業団議会において、見直し期間の責任水量についても、各年度とも平成十二年度値と同じ水量の一日当たり四万

五千八百立方メートルに決まり、年度ごとに増加することなく推移する内容で可決されたところである。この結果、今回の責任水量の見直しによる効果は、赤字の解消とまではならないが、見直し期間四年間で受水費の削減が相当図れると見込まれる。



公明党代表 岡田 壽彦 議員

平成十四年度予算編成方針について
 労働行政について 介護保険制度について
 教育行政について 市民参加のまちづくり推進について

市民参加のまちづくり推進について

問 本市は、昭和十七年十一月三日、全国百九十七番、千葉県下六番目の市制を施行して以来、六十周年を迎える。

そこで、市民総出のイベントを開催し、本来の明るい木更津市を取り戻したいと考える。また、早急に市民参加の実行委員会をつくり、すばらしい祭典をしたいと思いますがいかがか。

答 記念事業については、平成十四年度を通じての実施を考えており、現在、具体的に検討している事業は、記念式典、和泉流宗家の文化公演、大相撲木更津場所等があるが、今後は、市民参加型事業の検討を進めていきたいと考えている。

実行委員会の設置については、市民参加の事業実施をしていくために、庁内組織とあわ

せて市民参画の実行委員会の設置を考えており、平成十年度より組織されている、市民の日記念事業実行委員会を発展させる形で設置をしていきたいと考えている。

なお、設置時期は、平成十四年度当初を目途に諸準備を進めていくところである。

問 記念事業の予算はどうするのか

答 現在、平成十四年度当初予算に組み込むことができるよう努力しているところである。

山形 誠子 議員

学校給食問題 福祉・医療行政
 保育行政 震災対策
 木更津駅東口トイレのバリアフリー化

学校給食問題

問 群馬県や埼玉県では、既に県産小麦100%のパンを給食で使用しており、これらのパンからは、農薬は全く検出されなかった。本市も、子どもたちの健全な成長のために

も、一日も早く100%県産小麦使用のパンを学校給食に導入するよう、千葉県に強く要請する考えはないのか

答 確かに、群馬県、埼玉県では、100%の国産小麦粉を使用したパンは製造過程が複

雑になる等、大量生産するためには相応の設備投資が伴うため、希望校のみにそのパンを提供していると確認している。

本市としては、千葉県学校給食会とも相談しながら対応していきたいと考えている。

また、本年、食糧庁が行った輸入小麦の調査結果でも、食品衛生法に定められた残留農薬等の基準値を超えるものは検出されなかったというふうに聞いているところである。

佐藤 多美男 議員

狂牛病対策 「四市合併」問題
 市民負担の軽減について
 請西千束台特定土地区画整理事業 公用車の購入

狂牛病対策

問 市として、狂牛病対策への基本方針があるのか。また、取り組み状況があれば伺いたい

答 市の対策については、千葉県海綿状脳症防疫対策本部及び君津地域の現地対策本部を通じて、正確な情報収集に努めるとともに、関係機関と連携し対応してまいりたいと考えている。

なお、平成十三年十月六日に、本市を会場に開催した君津地域乳牛共進会においても、牛肉の安全性についてアピールを行ったところであるが、その後、北海道、群馬県等に二頭目、三頭目の狂牛病が見つかり、大変心配しているところである。



次に、食肉販売店への対策については、本年九月に食肉関連事業者などへの支援策として、創設された千葉県経済変動対策基金の狂牛病対策特別枠や、中小企業信用保険法に基づき指定されたセーフティーネット保証の適用、あるいは本市の中小企業資金融資制度の活用をPRしているところである。

問 国への補償の要請は

答 引き続き正確な情報提供と防疫対策への適切な指導や、食肉関連事業者への経営安定化を図るための諸施策等、県を通じて要請していきたい。

高橋 てる子 議員

行政改革について

行政改革について

問 第三次行政改革大綱に対する基本姿勢について伺いたい

答 第三次行政改革大綱に定めている重点課題事項については、すべての項目において、実施、一部実施、あるいは検討している。この第三次行政改

革大綱は平成十三年度で終了する三カ年実施計画で終わるものではなく、平成十四年度以降も引き続き実施計画を策定して、その実現のために努力していく所存である。

問 各種事務事業の合理化など、事務評価

管理システムによる費用対効果算定及び分析マニュアルの導入についての、本市の取り組みについて伺いたい

答 事務事業評価システムについては、現在、庁内に課長クラス

の職員からなる行政評価システム検討委員会を設置し、導入等の手法について検討中であるが、分析マニュアル

等を検討するまでには至っていない。

問 補助金については、本市としては今後どのような角度から見直しをしようとしているのか

荻野 一男 議員

子ども会他、諸奉仕団体の廃品回収活動に対する市当局のご認識は
矢那川緑、桜並木の諸管理責任の所在について
駅のエレベーターの利用について 駅前市営駐車場について

子ども会他、諸奉仕団体の廃品回収活動に対する市当局のご認識は

問 各団体に対しての突然とも言える廃品回収に対する助成金の支給カットは、多くの

団体にそれなりの大きな衝撃を与えているが、助成金は「生き銭か死に銭か」市の考え

方を聞きたい

答 昭和五十四年度に資源ごみ回収の推進についての調査研究を行つた機関として木更津市ごみ回収推進研究会を設置し、昭和五十五年



度実施した町内会、子ども会やPTA等に対して助成金を交付し、市民の資源ごみ回収に対する認識を高めた。さらに、平成五年度に

は、資源ごみの取引を行う組合に対しても助成金を交付する規則を定め、より一層のごみ減量化、資源化を推進してきた。

また、この助成金制度は、団体の育成の役割、子どもたちの資源を大切にすることを育む役割など、多くの役割を担っているものと思われ、今年度は事業費の範囲を超え、見込まれることから、十二月いっぱいまでの活動に対し助成することとし、来年一月から三月までの活動に助成はできない旨を各団体に通知したところである。

なお、この制度は今後も継続してまいりたいと考えている。

市役所前から幸町の農協真舟支店までの区間については、現在、JRの踏切改良や前後の道路整備工事を平成十三年度内の完成を目途に行っている。また、市役所前から木更津警察署脇の横断歩道橋のある県道との交差点までは、右折車線を確保し混雑の緩和を図るべき工事を平成十四年三月に完成させる予定である。平成十四年四月には、体育館から農協真舟支店まで、暫定形の二車線により、全線開通できる。

市事業の中央地区

齋藤 吉江 議員

都市計画道路の見通し

市民福祉の向上 芸術文化の振興

雇用問題

都市計画道路の見通し

問 都市計画道路の木更津駅万石線 潮見木更津高等学校線

中野畑沢線について、見通しを聞きたい

答 通称二十間道路の手前約八十メートルを残しているが、この箇所も平成十三年度事業で整備を予定しており、平成十四年度当初には供用開始させる予定である。

十六%である。この事業は国庫補助事業として買い取りを行っているところである。また、県事業の新宿から江川までの用地取得率は、平成十二年度末で七十六%となっており、全体事業の約七十%の執行率となっている。



木更津駅万石線



潮見木更津高等学校線

平成13年度予算額一覧表

(単位:千円)

会計名	補正前の額	今回の補正額	議決後の額
一般会計	35,946,460	109,471	36,055,931
特別会計			
国民健康保険	9,433,180	31,277	9,464,457
老人保険	7,780,064		7,780,064
介護保険	3,774,573	2,560	3,777,133
特別養護老人ホーム	277,500	1,396	276,104
霊園事業	46,000	880	46,880
公設地方卸売市場	108,600	742	107,858
公共下水道事業	3,468,873	20,581	3,448,292
駐車場事業	378,500		378,500
小計	25,267,290	11,998	25,279,288
水道事業会計	5,262,614	22,227	5,240,387
合計	66,476,364	99,242	66,575,606

意見書の提出

今定例会に議員から発議案一件が提出され、可決された。次の意見書を国会並びに政府に提出しました。



WTO(世界貿易機関) 農業交渉に向けた意見書(要旨)

WTO(世界貿易機関)農業交渉において、人類の生存に不可欠な食料の安定供給を確保するため、様々な国や地域で多様な農業が共存できる貿易ルール等を確立するよう国会及び政府に対し、下記の4点を重点課題として今後の交渉に臨むよう求めるものである。

- (1) 農林水産業は、食料や木材などの生産・供給だけでなく、地球規模での自然環境の保全、良好な景観の形成、地域社会の維持や雇用の場の確保など、人間生活に欠くことのできない多様な役割を果たしており、この多面的機能を維持するとともに、各国の農林水産業が共存できるようWTOの貿易ルールを改めること。
 - (2) 今後の世界的な人口増加に対する食料の確保が人類の課題であり、世界最大の農産物輸入国の日本が、食料生産の増大に努めることは、国際的な責務となっている。そのため、世界的な食料安全保障の確保のためにも、国内の食料自給率の向上等が図られるようにすること。
 - (3) 食品添加物や残留農薬等に加えて、遺伝子組み換え食品、環境ホルモンなど、食をめぐる新しい問題が続出する中、「食の安全」対策の強化が求められている。一方で、輸入食品の増加に伴い、食の安全に関する国内基準が、国際基準に合わせて緩和されつつあり、食の安全確保対策が重要となっている。特に遺伝子組み換え食品(GMO)の流通・表示のルールを国際的にも明確にさせること。
 - (4) これらの課題を実現するため、輸出入国とも自国の生産資源を最大限活用して食料を確保できるよう、適切な関税水準の設定などの国境措置や、国内助成については各国の食料・農業をめぐる事情を配慮し、一律的な削減を行わないようにすること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成13年12月20日

千葉県木更津市議会

市長の辞職勧告決議

須田勝勇市長の給与仮差し押さえや、固定資産税の滞納が明白となった。

市民の財産を守るべき立場にある地方自治体の長が、市民と借金問題でトラブルを起こしたり、税金を滞納するということは言語道断であり、まったくの弁解の余地はない。

さらに、市長の所有地をめぐる暴力団との関与も取り沙汰されている。木更津市および市民の名誉を著しく傷つけ、もはや市長としての資格を有しないものである。

よってここに、木更津市議会は、須田勝勇市長の辞職を勧告する。

平成14年1月15日

千葉県木更津市議会

発議案の提出 一月臨時会に議員から発議案一件が提出され、原案どおり可決されました。

委員会のうごき

各委員会では、付託案件の審査及び平成十三年度所管事項調査として行政視察を実施しました。

総務財政消防常任委員会

行政視察(十一月七日～九日)

石川県金沢市 世界都市構想実現のための行政施策について他
福井県福井市 財政健全化計画について他

経済環境常任委員会

行政視察(十一月七日～九日)

滋賀県大津市 環境行政について(河川愛護運動について他)

教育市民福祉常任委員会

行政視察(十一月十一日～十三日)

秋田県横手市 高齢者対策及び総合保健福祉センターについて
山形県新庄市 ふるさと歴史センターについて

土木都市水道常任委員会

付託案件審査(十二月十日)

陳情四件

行政視察(十月十日～十二日)

愛媛県今治市 今治港富田地区整備事業について
岡山県倉敷市 駅北広場整備事業について
付託案件審査(十二月十一日) 議案一件

議会運営委員会

行政視察(十月二十九日～三十一日)

高知県高知市・愛媛県宇和島市 議会運営について

業務核都市拠点地区対策特別委員会

行政視察(十月二十四日～二十六日)

広島県尾道市 複合的交流拠点形成事業について
広島県福山市 そのうち閉鎖に伴う対応策について、中心市街地の活性化策について

議会広報特別委員会

行政視察(十月四日・五日)

大阪府池田市 議会だよりの諸問題について

車いすでも 傍聴できます



十二月四日、庁舎6階にリフトが設置され、車いすでも議場で傍聴ができるようになりました。段差一メートルを上がり、階段を使わずに傍聴席まで行くことができますので、高齢者や体の不自由な人も利用していただき、介添えの人もリフトに添乗できます。リフトご利用の際は、議会事務局までお立ち寄り下さい。

12月定例会の議決結果

議案などの概要

市長提出議案

番号	件名	本会議の結果
市長提出議案		
議案第77号	平成13年度木更津市一般会計補正予算(第3号)	原案可決 賛成多数
議案第78号	平成13年度木更津市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決 全会一致
議案第79号	平成13年度木更津市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
議案第80号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意 全会一致
議案第81号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意 全会一致
議案第82号	木更津市の市街化調整区域における開発行為等の基準に関する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第83号	木更津市母子家庭児童入学及び就職祝い金支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
議案第84号	請西第二地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第85号	木更津市請西第三地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第86号	木更津市立公民館設置及び管理運営条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第87号	市道路線の廃止について	原案可決 全会一致
議案第88号	市道路線の認定について	原案可決 全会一致
議案第89号	平成13年度木更津市一般会計補正予算(第4号)	原案可決 全会一致
議案第90号	平成13年度木更津市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致
議案第91号	平成13年度木更津市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決 全会一致
議案第92号	平成13年度木更津市立特別養護老人ホーム特別会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
議案第93号	平成13年度木更津市霊園事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
議案第94号	平成13年度木更津市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
議案第95号	平成13年度木更津市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 全会一致
議案第96号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第97号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第98号	平成13年度木更津市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決 全会一致
議員発議案		
発議案第4号	WTO(世界貿易機関)農業交渉に向けた意見書について	原案可決 全会一致
陳情		
陳情第7号	保育所整備計画をつくり施設整備費の増額を求める意見書の提出に関する陳情書	不採択 賛成少数
陳情第8号	保育所運営費の増額を求める意見書の提出に関する陳情書	不採択 賛成少数
陳情第9号	健康保険本人3割負担、高齢者2割負担などの患者負担引き上げの中止を国に求める陳情書	不採択 賛成少数
陳情第10号	「WTO(世界貿易機関)農業交渉」に向けた意見書採択を求める陳情	採択 全会一致
陳情第11号	共に学ぶ教育の理念を実現することをめざす意見書の提出に関する陳情書	継続審査 全会一致

議案第77号、第79号、第89号、95号、第98号は、いずれも補正予算に関する議案で、一般会計予算と特別会計予算(六会計)・水道事業会計予算に総額九千九百二十四万二千円を追加しようとするものです。議決後の総予算額は、六百六十五億七千五百六十六万六千円になります。会計ごとの内訳は、(5)面の「一覧表」とおりです。議案第80号 木更

津市区域の人権擁護委員「石井正」氏の任期満了に伴い、同氏を再度推薦するため、議会の意見を求めるものです。議案第81号 木更津市区域の人権擁護委員「林榮一」氏の任期満了に伴い、「安田禄彌」氏を後任に推薦するため、議会の意見を求めるものです。議案第82号 千葉

津都市計画請西第二地区地区計画の変更に伴い、関係条文の整備をしようとするものです。議案第83号 県の補助金交付要綱の改正により、中学校卒業後の進学及び就職祝い金を廃止することに伴い、関係条文の整備をしようとするものです。議案第84号 木更

津都市計画請西第三地区地区計画の変更に伴い、関係条文の整備をしようとするものです。議案第85号 木更津都市計画請西第三地区地区計画の変更に伴い、関係条文の整備をしようとするものです。議案第86号 木更

津市立富来田公民館の改築に伴い、富来田公民館の各目的室を有料で使用しようとする場合の使用料について、新たに関係条文を整備しようとするものです。議案第87号 一般交通の用に供する必要がなくなった市道路線の一部を廃止することについて、議会の議決を得ようとするものです。議案第88号 土地

議員発議案

発議案第4号 陳情第10号が採択されたことに伴い、(5)面の意見書を国会並びに政府に提出しようとするものです。陳情第7号 保育所への待機児童を解消するため、保育所の整備計画をつくり、保育所新設のための施設整備費の増額を求めるものです。陳情者……千葉県保育問題協議会・会長「友松尋子」

陳情第8号 保育所のある子とない子が共に学ぶことができる教育の実現をめざし、関係法令の整備等を求めるものです。陳情者……「上原口美奈子」

陳情

陳情第9号 医療費の患者負担引き上げの中止等を求めるものです。陳情者……社会保険推進千葉県協議会・

次の定例会は、2月25日(月)から開催される予定です。

議事を傍聴してみませんか
受付住所・氏名を記入するだけで簡単に傍聴できます。
(委員会の傍聴は、委員長の許可が必要です。)
会議録の閲覧について
平成13年12月会議録は、市役所(2階)行政資料室、最寄りの公民館・図書館で3月4日(月)頃から閲覧することができます。

詳しくは、
議会事務局へ
お問い合わせ
ください

